

石川県立生涯学習センター

「五十周年を迎えた石川県立生涯学習センター」

石川県立生涯学習センター

社会教育グループリーダー

担当課長 谷村 誠一郎

一 創立五十周年記念事業

石川県立生涯学習センターは、昭和四十一年五月、本多町の石川県社会教育会館で社会教育センターとして創立され、平成十五年七月広坂庁舎に移転とともに石川県立生涯学習センターと改称し、さらに平成二十三年四月には本多の森庁舎に移転するなどの変遷を経ながら、平成二十八年に創立五十周年を迎えました。

創立五十周年記念事業として、県民大学校・大学院修了証書交付式に併せ、平成二十八年六月十二日に石川県立生涯学習センターにおいて、五十周年記念式典及び記念講演会を実施しました。記念式典は、石川県知事出席のもと、石



「創立50周年記念式典」
谷本 正憲 知事



S41.5～社会教育会館
(金沢市本多町3丁目)



H15.7～広坂庁舎
(金沢市広坂2丁目)



H23.4～本多の森庁舎
(金沢市石引4丁目)

川県議会議長、市町教育長会会長、県民大学校実施機関代表の来賓の方々と県民大学校・大学院修了生百六十名の皆様の出席をいただき実施しました。

また、記念講演は、同志社大学生命医科学部特別客員教授石浦章一先生を講師に迎え「いつまでも老いない脳をつくる10の生活習慣」というテーマで実施しました。講演会は二百二十六名という多くの方に参加いただきました。先生からは、老いない脳をつくるためには、週二～三回程度の有酸素運動が効果的なこと、脂肪酸を少なめにした野菜中心の食習慣が大切であることを、時折ユーモアを交えながら、分かりやすくお話

しいただきました。

石川県立生涯学習センターの主な沿革は次のとおりですが、当センターは、市町、関係機関、社会教育団体等と連携しながら、県民大学校・大学院等の事業を通して県民の皆様の生涯にわたる学習活動の支援に努めることを目的としています。今後とも、ますます県民の皆様が愛されるセンターとなるよう取り組んでいきたいと考えています。

「主な沿革」

昭和四十一年五月

「社会教育会館」完成、石川県立社会教育センター開館

平成二年六月

石川県民大学校開校
平成十一年六月

石川県民大学校大学院開校
平成十五年五月

奥能登行政センターに能登分室を開設
平成十五年七月

広坂庁舎(県庁跡地)に移転、石川県立生涯学習センターと改称
平成十八年五月

創立四十周年記念式典
平成二十一年五月

石川県民大学校二十周年記念事業
平成二十三年四月

本多の森庁舎(旧厚生年金会館)に移転
平成二十八年六月

創立五十周年記念式典

二 石川県民大学校

石川県民大学校は、多様化・高度化する県民の学習要求に応え、本県の豊かな自然と文化の継承発展を図りつつ、社会の変化に対応できる創造的で活力ある県民の育成を図り、生涯にわたる学習の機会を提供することを目的として平成二年六月に開校しました。

開校以来、六十歳以上の方を中心にのべ一三万人を超える県民の皆様にも県民大学校講座を受講いただいています。生涯学習センターの主催講座では、フアシリテーター養成講座、あすなる悠々塾、兼六ビデオ講座のほか、近年では、

- ①「ふるさとモット学び塾」
- ・本多の森庁舎で実施する「ふるさとふれあい講座」
- ・県内の史跡等をバスで巡る「ふるさとふれあい現地講座」
- ・能登分室で実施する「ふるさとふれあい能登校講座」
- ・専門の講師が学校、公民館等で行う「ふるさと発見出前講座」
- ②「ファミリー・カレッジin本多の森」

などが人気のある講座となっています。

これらの中から、ここでは、『ふるさとモット学び塾』の「ふるさとふれあい講座」及び、今年で二年目を迎えた「ファミリー・カレッジin本多の森」について紹介いたします。

三 「ふるさとふれあい講座」

生涯学習センター（石川県本多の森庁舎）を会場にした全10回の講座です。第1回の諸江吉太郎氏（落雁諸江屋主人）から第10回の井村辰二郎氏（株式会社金沢大地代表取締役）まで、県内各所で活躍の講師が、「和菓子の魅力」人

生儀礼」「海外からのお客様とおもてなし」「加賀毛針」「金沢の料亭」「神社祭礼」「木曾義仲」「発酵食文化」「農業と食」などをテーマに、仕事や研究の成果を活かした大変興味深く、魅力的なお話をいただきました。幅広い分野についての講演から、石川の魅力の奥深さが実感できました。

第1回は、7月2日（土）に、諸江吉太郎氏による「金沢の和菓子魅力を伝える」と題した講演会を行いました。講演では、町の意義・意味を伝える精神、呉服屋さん和菓子、氷室饅頭を始め和菓子に纏わる物語、和菓子と神様・天狗のお話、和菓子の名付け、落雁のいただき方、旅籠の和菓子と旅人へのおもてなし、金沢の歴史と和菓子に与えた影響等について分かりやすくお話いただき、大変興味深く聴かせていただきました。



第1回「金沢の和菓子魅力を伝える」
諸江 吉太郎 氏

また、年中行事と和菓子、お城のお菓子と町のお菓子、「米・魚・茶」の食文化と「麦・肉・乳」の食文化、砂糖・和三盆の歴史、お茶と和菓子の作法等、一つひとつのお話から石川の食と文化の素晴らしさ、人々の暮らしと歴史の深さに思いを至らせることができました。ふるさと石川に受け継がれてきた貴重な文化と歴史、人々の生き方という宝物を育み、また次の世代へと引き継いでいこうという思いを強く持つていただけたものと思います。

第5回は、9月2日（金）に「加賀毛針の歴史」を縫い針から毛針への変換」と題した講演会を行いました。

豊・蓑・笠・麻袋・書物・革製品等をつくるためには、様々な種類の針が必要であること、目を細長く先も鋭く仕上げられた使いやすい針に対し加賀藩主からお褒めの言葉とともに名付けられた「めぼ針」の名の由来に始まり、御細工所の業種と針の需要、看板とそこに書かれた言葉、針の製造過程と使いやすさを極めためぼ針の秘密、良いものを追求した武士の毛針内職、明治以降に毛針の製造を始められた経緯、『金沢城下図屏風絵』に見る鮎の毛針釣りの様子、加賀竿・加賀毛針と武士の鍛錬、毛針釣りの魅力と奥深さ、伝統工芸品製作のための道具や材料のこと、後継者の育成等につい

て、丁寧に分かりやすくお話くださいました。

また、たくさんの写真や長い年月をかけて完成された素晴らしい毛針や商品を実際に見せていただきました。加賀繻・加賀ゆびぬぎ・加賀手毬・加賀水引・金沢和傘等の伝統工芸を支えておられるめぼ針のこと、加賀毛針製作の繊細な作業、イツセイ・ミヤケとのコラボレーションを果たされたアクセサリー、魅力的な商品の開発等、一つひとつの話から石川の伝統文化の素晴らしさ、金沢城下の人々の暮らしと歴史の深さに思いを至らせることができました。他の伝統工芸品とのコラボレーション、新しい商品開発等を通して、伝統工芸の技術と繊細さ、伝統工芸が持つ魅力を広く伝えていращやすることに、心より敬服いたします。



第5回「加賀毛針の歴史」
目細 勇治 氏

平成28年度 「ふるさとふれあい講座」

回	演 題	講 師	回	演 題	講 師
1	金沢の和菓子魅力を伝える	落雁諸江屋 主人 諸江 吉太郎 氏	6	「金沢の料亭」と加賀料理	金澤町家料亭壽屋代表取締役社長 山縣 秀行 氏
2	人生儀礼のしきたり	民俗学者 小林 忠雄 氏	7	金沢城下町の神社祭礼	金沢市文化財保護審議会会長 東四柳 史明 氏
3	海外からのお客様とおもてなし	(株)浅田屋代表取締役社長 浅田 久太 氏	8	木曾義仲の栄光と挫折	かほく市文化財保護審議会委員 瀬戸 薫 氏
4	～能登から世界へ～ ジェラートで世界を切り拓く	(株)マルガー代表取締役 柴野 大造 氏	9	未来を育む発酵食文化	糀料理研究家 小紺 有花 氏
5	加賀毛針の歴史 ～縫い針から毛針への変換～	(株)目細八郎兵衛商店代表取締役 目細 勇治 氏	10	農業と食から見る石川県の魅力	(株)金沢大地代表取締役 井村 辰二郎 氏



第1回「フードアナリスト的"おいしい"の秘密」
雅珠香 氏

四 「ファミリー・カレッジ in 本多の森」
この講座は、主に30歳代から40歳代の子育て世代を対象に、子どもと一緒に家族で楽しみながら参加できる講座として、平成27年度に開講しました。センターでは、この講座への参加を機に、若い世代の方々にも、生涯学習や県民大
学校に関心を持ち、生涯を通じた学びを深めていただければと考えています。
平成28年度の「ファミリー・カレッジ in 本多の森」は、全5回の実施です。
第1回5月3日(火・祝)に「あすかりん」ことフードアナリストの雅珠香氏を招き、「フードアナリスト的"おいしい"の秘密」と題した講演会を行いました。講演では、居酒屋の起源や歴史・現在との比較などの興味深いお話や、



第2回「兼六園と金沢城の秘密」を歩いてみよう！森永 寿久 氏

味覚を感じる「味蕾しくみ」について、大人と子ども、さらにナマズを例にして解説するなど、「五感食」にまつわる興味深いお話を、
第2回は、夏休み期間中の8月9日(火)に「兼六園と金沢城の秘密」を歩いてみよう！」と題し、石川県観光スペシャリスト(兼六園・金沢城)の森永寿久氏を講師に迎え実施しました。専門家の講師の案内のもと、兼六園と金沢城を親子で実際に歩きながら見学し、その魅力に直接触れながら、ふるさと石川について学びました。



第3回「童謡あのね」
神崎 ゆう子 氏

第3回は、8月21日(日)にNHK「おかあさんといっしょ」第16代うたのお姉さんの神崎ゆう子氏を招き、「童謡あのね」童謡の背景を知って歌おう」と題して実施しました。参加した小学生の子どもたちと保護者の方々は、神崎ゆう子さんと一緒に楽しく歌を唄い、また童謡の背景などについても勉強しました。

第4回11月3日(木・祝)に、音楽家の青島広志氏、テノール歌手の小野勉氏を招き、「青島先生といっしょに、うたって!きいて!」と題して実施しました。参加した方々は、小野氏の素晴らしい歌を聴いたあと、青島先生の指示のもと、小野氏と一緒に歌い、親子で「歌の楽しさ」を学びました。



第4回「青島先生といっしょに、うたって!きいて!」青島 広志 氏

第5回は、1月28日(土)に、ラッキィ池田氏を招き、「親子でダンスふるさとジャポン ダンスは体のことば〜いっぱいおしゃべりしちゃいましょう〜」と題して実施しました。参加した親子や家族は、みんな一緒にダンスをして踊ったり、歌いながら体を動かしては笑い、和やかな様子でした。

平成28年度 「ファミリー・カレッジin本多の森」

回	内 容	講 師
1	「フードアナリスト的 "おいしい" の秘密」	雅珠香 氏 (1級フードアナリスト)
2	「"兼六園と金沢城の秘密"を歩いてみよう!」	森永 寿久 氏 (石川県観光スペシャルガイド)
3	「童謡あのね〜童謡の背景を知って歌おう〜」	神崎 ゆう子 氏 (NHK「おかあさんといっしょ」第16代 うたのおねえさん)
4	「青島先生といっしょに、うたって!きいて!」	青島 広志 氏 (音楽家) 小野 勉 氏 (歌手)
5	「親子でダンスふるさとジャポン ダンスは体のことば〜いっぱいおしゃべりしちゃいましょう〜」	ラッキィ池田 氏 (振付師)



第5回「親子でダンスふるさとジャポン」ラッキィ池田 氏

